

機械器具39 医療用鉗子

一般医療機器 手術用骨鉗子(JMDN:32853000)

鋭匙鉗子

【禁忌・禁止】

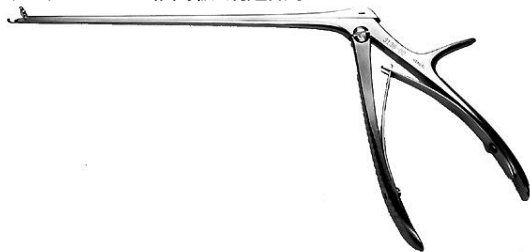
- 1) 本品を曲げたり、切削等の二次的加工(改造)をしないで下さい。〔折損、破損、発錆等の原因となります。〕
- 2) 本品を清掃する際には、必ず中性洗剤をご使用下さい。〔酸性、又はアルカリ性の洗剤は本品を腐蝕させるおそれがあります。〕
- 3) 使用時に必要以上の力を加えないで下さい。〔刃先の損傷の原因となります。〕

【形状・構造及び原理等】

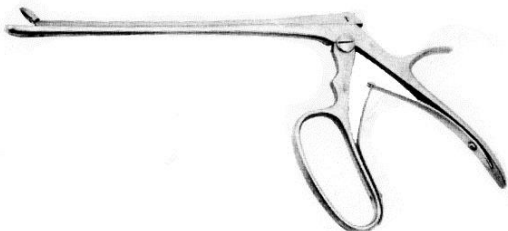
1. 材質:ステンレス鋼

2. 形状又は構造

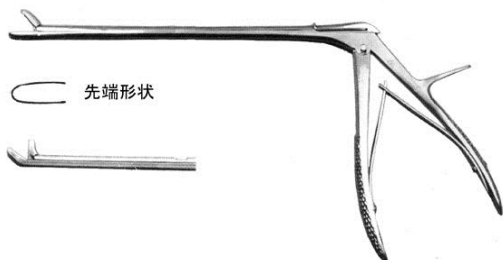
カタログNo. 3136 椎間板 鋭匙鉗子



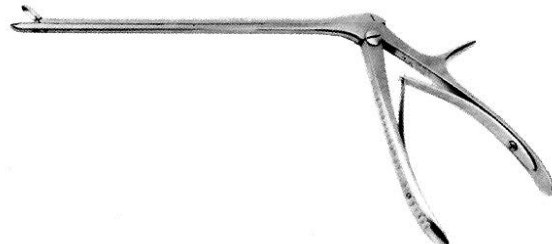
カタログNo. 3149 フェリス・スミス型 鋭匙鉗子



カタログNo. 3155 脊椎用 鋭匙鉗子



カタログNo. 3156 特大パンチ



サイズ表

カタログNo.	規格	カップ サイズ	シャフト部長さ
3136-01	大	φ4 mm	18 cm
3136-02	小	φ3 mm	18 cm
3149-01	大	4 × 6 mm	18 cm
3149-02	小	3 × 5 mm	18 cm
3155-01	直型・大	4 × 10 mm	18 cm
3155-02	直型・小	3 × 10 mm	18 cm
3155-03	上向・大	4 × 10 mm	18 cm
3155-04	上向・小	3 × 10 mm	18 cm
3155-05	直型・極小	2 × 10 mm	18 cm
3155-06	直型	5 × 10 mm	18 cm
3155-07	直型	6 × 10 mm	18 cm
3155-08	直型	7 × 10 mm	18 cm
3155-09	直型・極小	2 × 8 mm	18 cm
3155-10	下向	φ3 mm	18 cm
3156	直型	8 × 14 mm	19.5 cm

3. 原理

本品は、軟骨または組織を、カップ状の刃先で切除、又は把持摘出する鉗子である。なお、本品は再使用可能である。

【使用目的又は効果】

脊椎手術にて、軟骨や組織を切除或いは把持摘出するために用いる。深部へ容易に到達できるよう、細長いシャフトを備え、握りやすく微妙な力加減に有利なピストル型のデザインとなっている。

【使用方法等】

1. 本品は未滅菌のため、使用に際しては必ず洗浄し、下記の条件又は医療機関により確認され、検証された滅菌条件において滅菌を行って下さい。
2. 滅菌方法: 高圧蒸気滅菌
滅菌条件: 温度 121℃以上、時間 30 分
3. 使用方法
切除する部位に先端をあてがい、ハンドルを慎重に操作しながら、組織を把持または切除、摘出する。

【使用上の注意】

<重要な基本的注意>

- 1) 刃先の摩滅や変形、シャフトの破損等の原因になるので、使用時に必要以上の力を加えないで下さい。特に、使用時にシャフトがしなるような使い方は絶対に避けて下さい。
- 2) 使用後は、付着している血液、体液、組織及び薬品等が乾燥しないよう、直ちに洗浄して下さい。
- 3) 塩素系及びヨウ素系の消毒液は、腐蝕の原因になるので、できるだけ使用を避けて下さい。それらが付着した場合は直ちに洗浄して下さい。

＜不具合＞

本器の使用により、以下のような不具合・有害事象がおこる可能性があります。

- 1) 本品の適切な洗浄、滅菌を行わなかったために起こる感染。
- 2) 本品の刃先の破損や、鋭匙状カップ固定ピンの折損や脱落など。

【保管方法及び有効期間等】

＜保管方法＞

- 1) 保管にあたっては、洗浄をした後、腐蝕を防ぐために必ず乾燥して下さい。
- 2) 滅菌済みのものを保管するにあたっては、再汚染を防ぐために清潔な場所に保管するとともに、有効保管期間の管理をして下さい。

【保守・点検に係る事項】

- 1) 使用後は、できるだけ早く血液、体液、組織などの汚れを除去し、感染防止のために洗浄して下さい。汚染除去に用いる洗剤は、洗浄方法に適したものを選択し、適切な濃度で使用して下さい。
- 2) 洗浄装置（超音波洗浄器、ウォッシャー ディスインフェクター等）で洗浄する際には、刃物が接触して先端を破損することがないように注意して下さい。
- 3) 洗剤の残留がないよう、十分にすすぎをして下さい。仕上げすすぎには、浄化水（ろ過、蒸留、脱イオン化水）を用いることを推奨します。
- 4) 洗浄後は、腐食防止のために、直ちに乾燥して下さい。
- 5) 滅菌前、あるいは使用前に、汚れ、キズ、サビ、曲がり、先端鋭匙部分の損傷等、異常がないか点検を行って下さい。
- 6) ハンドルを静かに握り、先端部分のかみ合わせの異常や刃こぼれ、固定ピンの紛失等、異常が認められる場合は使用せず、修理に出して下さい。
- 7) 強アルカリ性、または強酸性の洗剤や消毒液は、器具を腐蝕させるおそれがあるので、絶対に使用を避けて下さい。中性洗剤の使用を推奨します。また、金属たわし、クレンザー（磨き粉）等は、器具の表面を損傷するおそれがあるので、汚れ除去及び洗浄の際には使用しないで下さい。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者： 株式会社 根本商会